

特記仕様書（案）

第1条 目的

本業務は、逢瀬川筋外における河川改修事業の施行にあたり、基本計画段階、設計段階、用地取得段階、工事発注段階、施工段階の各種マネジメントを行うことを目的とする。

第2条 用語の定義

本仕様書における「発注者」「CMR」「CM業務受託者」「受注者」の定義は以下のとおりとする。

「発注者」とは、福島県県中建設事務所長をいう。

「CMR」とは、CM方式対象事業に関する業務を総合的にマネジメントする企業体をいう。

「CM業務受託者」とは、本業務を実施する者をいう。

「受注者」とは、本業務の対象事業に係る工事及び委託業務を実施する者をいう。

第3条 業務の場所

- ・逢瀬川筋
- ・右支夏井川筋
- ・今出川筋
- ・大滝根川筋
- ・阿武隈川

（別紙「業務位置図」のとおり。）

第4条 業務内容及び概要

別表1「業務内容表」、別表2「業務工程表」に示す業務内容のうち、令和8年度の業務について、下記の段階毎に業務を行うものとする。

- ① 基本計画段階
- ② 設計段階
- ③ 用地取得段階
- ④ 工事発注段階
- ⑤ 施工段階

第5条 CMRに委任する業務

発注者は福島県土木部工事監督員執務要綱による監督行為の一部を、CMRに委任する。

なお、監督行為の最終決定は監督員を含めた発注者が行う。

第6条 CMRが実施する業務

管理技術者及び担当技術者から組織されるCMRは次の事項を実施しなければならない。

- (1) CM方式対象工事の設計の検討、支援等を実施すること。
- (2) CM方式対象工事受注者、委託業務受注者に対する総合監理を実施すること。
- (3) CM方式対象工事受注者、委託業務受注者からの求めがあったときは、必要な事項について監督員と協議すること。

第7条 打合せ

打合せ時期及び回数は以下のとおりとし、必ず管理技術者が出席すること。

- | | |
|-------------------|--------|
| ① 業務着手前 | 1回 |
| ② 業務中間時（中間業務報告） | 2週間に1回 |
| ③ 成果品納入時 | 1回 |
| ④ その他、委託者が必要と認めた時 | |

なお、中間業務報告時には、日々の業務状況を報告する。

第8条 業務の対象及び体制

- (1) 本業務の対象事業は、下記のとおりとし、個別事業の詳細については別途指示する。

路河川名	対象事業名
逢瀬川筋	補助事業（河川）
右支夏井川筋	交付金事業（河川）
今出川筋	補助事業（河川）
大滝根川筋	交付金事業（河川）
阿武隈川筋	交付金事業（河川）

- (2) 関係機関等より協議等を求められた場合などで、同時間に重複する業務が発生した場合は、同時に業務ができる体制を整え実施するものとする。
- (3) 本業務の遂行に必要な人数の担当技術者を配置すること。
- (4) 担当技術者は、契約締結後7日以内より履行期限まで、福島県県中建設事務所（郡山市）に常駐して業務を行うものとする。
- (5) 休暇、早退、遅刻等を行う場合は、事前に監督員に報告すること。
- (6) 本業務は原則、契約変更を行わないものとするが、第13条に該当する場合はこの限りではない。

第9条 積算基地

本業務における積算上の基地（以下、積算基地）の取扱いは以下によるものと

する。

管理技術者の打合せ等に要する旅費交通費算出のための積算基地は、受注者の本支店等が所在する市役所等とし、契約後の積算基地の変更は行わない。

また担当技術者の通勤等に要する旅費交通費算出のための積算基地は、担当技術者毎に設定し、必要に応じて変更する。

第10条 成果品

- (1) 本業務は、業務計画書にしたがって以下の資料を含む成果品を発注者に提出する。
 - ・業務中にマネジメントした事項の目的、経緯、結果等がわかる資料
 - ・その他発注者が必要と認めるもの。
- (2) 成果品の部数は以下の通りとする。
 - ・電子成果品（電子媒体（CD-R）、内1部は製本版に添付） 2部
 - ・製本版（ファイル綴じ）成果品（A4判、報告書、図面折込） 1部
- (3) 電子成果品に当たっては福島県が策定した「福島県電子納品ガイドライン（案）」に基づき電子データを作成し、ウイルス対策を実施したうえで納品する。

第11条 行政情報流出防止対策の強化

- (1) CM業務受託者は、本業務の履行に関する全ての行政情報について適切な流出防止対策をとらなければならない。
- (2) CM業務受託者は、共通仕様書に定める「行政情報流出防止対策の基本事項」を遵守しなければならない。
- (3) 発注者はCM業務受託者の行政情報の管理体制等について、必要に応じ、報告を求め、検査確認を行う場合がある。

第12条 秘密の保持

CM業務受託者は本業務のために発注者より貸与された資料及び本業務で知り得た事項や成果について、委託者の許可無く他に公表や貸与してはならない。

第13条 契約内容の変更

契約内容の変更については、業務の実施体制を変更する必要がある場合に、発注者とCM業務受託者の協議により行うものとする。

第14条 技術者の変更

管理技術者及び担当技術者は、やむを得ない理由があると認められる場合を除き変更できない。ただし、下記の条件を全て満たす場合は変更を認めるものとする。

- (1) 変更する技術者について、変更前の技術者と同等以上の資格・実績等を有していること。
- (2) 発注者が認めた者であること。
- (3) 技術者配置後、半年程度経過していること。
- (4) 技術者の変更協議が変更日の２ヶ月前まで行われていること。

第15条 事務所内立入り許可証

- (1) 受注者は、発注者施設内で業務を行う場合は、監督員に発注者施設内で業務を行う担当技術者の氏名、その期間などを報告し、事務所内立入り許可証発行の確認を受けなければならない。
- (2) 発注者施設内で業務を行う担当技術者は、前項に基づき発注者が交付する事務所内立入り許可証を携帯し業務に当たらなければならない。

CM業務委託	
事務所内立入り許可証	
受 注 者 名	
担当技術者氏名	
委 託 業 務 番 号 第	号
使 用 期 間 R . .	~ R . .
事務所長許可印 ○○○建設事務所長 印	

第16条 提出書類の様式

- (1) 受注者は、共通仕様書（業務委託編）に定める様式により書類を提出しなければならない。
- (2) なお、受注者が担当する工事、委託業務において、CM方式対象工事受注者、委託業務受注者と書類を交わす際は、業務打合せ簿（様式－10（CM用））、打合せ記録簿（様式－27（CM用））を使用すること。

第17条 中立公平性

受注者及び受注者と資本、人事面等において関連があると認められる者は、当該CM方式対象事業に係る測量及び調査、設計並びに工事の入札に参加し、又は受注者となること（下請及び設計共同体等の構成員となること）ができないものとする。

第18条 その他

- (1) 本業務の履行に当たっては、本特記仕様書に従うほか、本特記仕様書に定めのないものについては、福島県土木部が定めるCM業務共通仕様書及び

共通仕様書（業務委託編）を遵守する。

本特記仕様書、CM業務共通仕様書及び共通仕様書（業務委託編）に定めのない事項又は本業務の実施に当たり、疑義が生じた場合は、速やかに発注者と協議するものとする。

- (2) 成果品の著作権（版権）はすべて発注者に帰属するものとする。
- (3) 業務着手後、技術提案内容の履行状況を確認するため、「第7条打合せ等」の中間業務報告として「第10条 成果品」の業務記録の提出を求める。

なお、中間業務報告にかかる費用はCM業務受託者の負担とし、契約変更対象としない。

- (4) 本業務の実施場所については、以下のとおりとする。
 - 1) 執務室は県中建設事務所内を予定している。
 - 2) 庁舎を使用する場合における使用料、光熱費等については、無償とする。
 - 3) 作業服、安全帽、安全靴等常時身につけるものは受注者が用意すること。
 - 4) 机、椅子は発注者が貸与する。
 - 5) 事務用品は受注者が用意すること。
 - 6) 業務に必要なパソコン等は受注者が用意すること。

様式-10(CM用)

業務打合せ簿

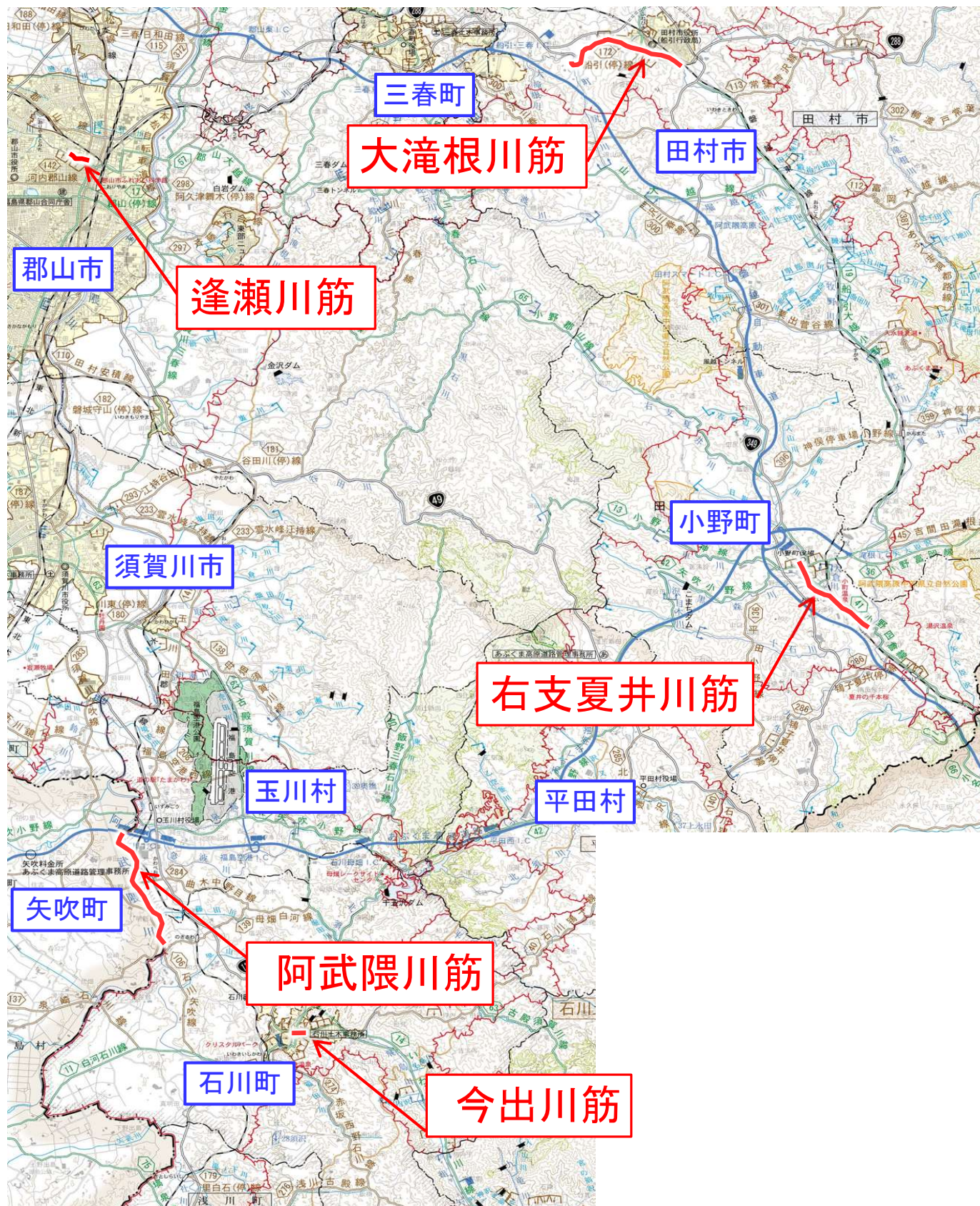
発議者		<input type="checkbox"/> 発注者 <input type="checkbox"/> 受注者		発議年月日		令和 年 月 日					
発議者名											
発議事項		<input type="checkbox"/> 指示 <input type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 通知 <input type="checkbox"/> 承諾 <input type="checkbox"/> 提出 <input type="checkbox"/> 届出 <input type="checkbox"/> その他 ())									
業務番号 業務名		第 号							業務委託		
(内容) 											
添付図 葉、その他添付図書											
処理・回答	発注者	上記について <input type="checkbox"/> 指示 <input type="checkbox"/> 承諾 <input type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 通知 <input type="checkbox"/> 受理 <input type="checkbox"/> その他 します。 [指示事項・協議結果等]									
		監督員							令和 年 月 日		
処理・回答	受注者	上記について <input type="checkbox"/> 了解 <input type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 提出 <input type="checkbox"/> 報告 <input type="checkbox"/> 届出 <input type="checkbox"/> その他 します。 [提出・報告内容等]									
		管理(主任)技術者							令和 年 月 日		

部長次長	課長	主任査主	監督員	CM管理技術者	CM担当技術者	管理(主任)技術者	担当者

打 合 せ 記 録 簿

第 回										項	/
発注者側	担当 部長	担当 課長	担当(主任) 主査	監督員	C M 担当	管理 技術者	担当 技術者	受注者側	管理(主任) 技術者	担当技術者	
事務所名								受注者			
委託業務の 名称								整理番号			
出席者	発注者側							場 所			
								日 時			
	受注者側							打合せ 方 式	会議 ・ 電話 ・ ()		

業務位置図



別表1「業務内容表」(第4条関連)
逢瀬川筋外CM業務内容

	令和8年度				
	逢瀬川筋	右支夏井川筋	今出川筋	大滝根川筋	阿武隈川筋
① 基本計画段階					
基本計画					
全体工程計画の検討及び作成	○	○	○	○	○
協議設計資料作成	○	○	○	○	○
② 設計段階					
設計発注計画					
関係機関調整資料(住民対応資料含む)の検討等	○	○	○	○	○
積算業務	○	○	○	○	○
設計業務監理					
設計条件・中間・成果の確認等	○	○	○	○	○
設計者間調整					
設計者との打合せ・協議等	○	○	○	○	○
③ 用地取得段階					
用地取得計画					
全体業務計画を含めた検討	○		○		
物件調査等の発注準備	○		○		
関係機関調整					
関係機関調整資料の検討	○		○		
物件調査委託業務整理					
物件調査委託の計画、管理	○		○		
業務委託監理					
物件調査委託進捗管理	○		○		
用地補償業務					
用地補償交渉進捗管理	○		○		
④ 工事発注段階					
工事発注計画					
全体工程の検討・関係機関資料検討等	○	○	○		
積算資料等の作成等	○	○	○		
積算業務(当初・変更)	○	○	○		
調達支援					
技術提案の評価等	○	○	○		
⑤ 施工段階					
施工監理					
施工計画書の確認等	○	○	○		
工事施工の立会等	○	○	○		
設計変更協議の支援等	○	○	○		
関係機関調整資料(住民対応資料含む)の検討等	○	○	○		
工事請負者間調整					
全体施工計画の確認等	○	○	○		
工事請負者との打合せ・協議等	○	○	○		
完成図書の確認等	○	○	○		

業 務 工 程 表

①逢瀬川筋

年度	令和8年度											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
用地交渉(用地交渉補助)												
支障物移転協議												
関係機関調整												
調査設計発注・監督												
橋梁工事発注・工事監督												
河川工事発注・工事監督												
全体工事工程計画策定・フォローアップ※												

②右支夏井川筋

年度	令和8年度											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
用地交渉(用地交渉補助)												
支障物移転協議												
関係機関調整												
調査設計発注・監督												
橋梁工事発注・工事監督												
河川工事発注・工事監督												
全体工事工程計画策定・フォローアップ※												

③今出川筋

年度	令和8年度											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
用地交渉(用地交渉補助)												
支障物移転協議												
関係機関調整												
調査設計発注・監督												
橋梁工事発注・工事監督												
河川工事発注・工事監督												
全体工事工程計画策定・フォローアップ※												

④大滝根川筋

年度	令和8年度											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
用地交渉(用地交渉補助)												
支障物移転協議												
関係機関調整												
調査設計発注・監督												
橋梁工事発注・工事監督												
河川工事発注・工事監督												
全体工事工程計画策定・フォローアップ※												

⑤阿武隈川筋

年度	令和8年度											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
用地交渉(用地交渉補助)												
支障物移転協議												
関係機関調整												
調査設計発注・監督												
橋梁工事発注・工事監督												
河川工事発注・工事監督												
全体工事工程計画策定・フォローアップ※												

※全体工事工程計画策定においては、当該年度工事が確実に年度内竣工を図るための工程計画の策定を行う。

事業概要書

1 事業内容

- | | おおせがわすじ | こおりやまし わかばまち |
|-------|------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| ①箇所名 | 逢瀬川筋 福島県郡山市若葉町地内外 | |
| ②事業内容 | 河川改修事業 整備計画区間 L=1.3km (逢瀬橋～幕内橋)
整備計画流量 Q=520m ³ /s | |
| ③進捗状況 | 逢瀬橋～咲田橋、咲田橋～幕内橋の区間について、築堤護岸工は完了。
咲田橋及び咲田橋直近上下流の築堤護岸、築堤に伴う背後地取付道路への接続を施工中。 | |

2 事業の背景・目的・課題等

(1) 事業の背景

本河川は郡山市中心部を流下しており、昭和 61 年 8 月、平成 10 年 8 月、平成 23 年 9 月、令和元年 10 月の台風や集中豪雨により、度々浸水被害に見舞われていることから、河積断面を確保し浸水被害の軽減を図るために、河道掘削及び築堤護岸等の河川改修事業を実施している。

河川整備計画：一級河川阿武隈川水系 郡山圏域河川整備計画

(2) 事業の課題

本河川は郡山市の中心部を流下しており、沿川は人家連担部であることから、橋梁架け替えや築堤工事に伴うインフラ施設や宅地等への影響が大きく、関係機関との協議や施工調整、隣接住民との用地、補償調整や宅地への乗入口対応等、多岐にわたり事業調整を実施しなければならない。

対象区間 L=1.3km は令和 8 年度事業完了を目標としており、また、現在施工中の咲田橋架替工事は令和 8 年 12 月供用開始予定としていることから、確実な工事進捗のための事業マネジメントが重要となっている。

3 評価テーマ

- ・市街地（人家連担箇所）で実施する河川事業において、各事業を確実かつ円滑に行うための事業監理手法。

【位置図】



事業概要書

1 事業内容

①箇所名	うしなついがわすじ 右支夏井川筋	たむらぐん おのまち おのにいまち 福島県田村郡小野町小野新町地内外
②事業内容	河川改修事業	全体計画区間 L=5.365km (夏井川合流点～本飯豊橋) 整備計画流量 Q=340m ³ /s (暫定計画流量 Q=190m ³ /s)
③進捗状況	下流区間の小治郎橋～平館橋間 (L=1km) は、暫定流量でH25完。 現在は上流区間の稲荷橋～小野町役場付近 (L=1km) を実施中。	

2 事業の背景・目的・課題等

(1) 事業の背景

本河川は、中山間地域の小野町中心部を流下しており、昭和61年8月、平成2年9月の豪雨などにより度々洪水被害に見舞われている。

本事業は河川の断面積を広げ浸水被害を解消し、また、まちづくりと一体となった整備により、市街地の活性化に寄与するもの。

河川整備計画：夏井川水系 河川整備計画

(2) 事業の課題

本河川は、中山間地域の小野町中心部を流下しており、沿川は人家連担部であり、工事に関する地元要望が強い箇所である。

現在、実施中の上流区間（稲荷橋～小野町役場付近 L=1km）は用地取得が概ね完了し、工事を積極的に推進していく状況にあり、複数工事における重機やダンプトラックの錯綜、流用土の手配、工程に支障のない作業員の配置等が課題である。

3 評価テーマ

- ・市街地（人家連担箇所）で実施する河川事業において、各事業を確実かつ円滑に行うための事業監理手法。

【位置図】



事業概要書

1 事業内容

- ①箇所名
- ②事業内容
- ③進捗状況

いまでがわすじ

いしかわぐん いしかわまち あざ みなみまち

今出川筋 福島県石川郡 石川町 字南町地内外

河川改修事業 全体計画区間 L=300m 整備計画流量 Q=130m³/s

令和元年度より1工区（下流200m）の用地取得開始。

おおむね用地取得が完了したことから、最下流の「今須橋」の架替えに着手。旧橋撤去、下部工(A1, A2)施工済。

2 事業の背景・目的・課題等

(1) 事業の背景

本河川は、中山間地域の石川町中心部を流下しており、昭和41年9月、昭和61年8月、平成10年8月、令和元年10月の台風や豪雨等により度々洪水被害に見舞われている。

河積を拡大し、浸水被害の防止・軽減を図るため、河道掘削及び築堤護岸等の河川改修事業を実施している。

河川整備計画：一級河川阿武隈川水系 社川圏域河川整備計画

(2) 事業の課題

本河川は、中山間地域の石川町中心部を流下しており、沿川は人家連担部であり、工事に関する地元要望が強い箇所である。

また、早期事業効果発現を求められているものの、1工区の河川切回しに必要な箇所の一部が用地取得に時間を要しており、工事の進め方、事業展開について工夫が必要である。

なお、現在は2工区（上流100m）の用地取得を進めている。

3 評価テーマ

- ・市街地（人家連担箇所）で実施する河川事業において、各事業を確実かつ円滑に行うための事業監理手法。

【位置図】



事業概要書

1 事業内容

	おおたきねがわすじ	たむらし ふねひきまち
①箇所名	大滝根川筋 福島県田村市船引町地内	
②事業内容	河川改修事業 全体計画区間L=4.35km 整備計画流量Q=510m ³ /s	
③進捗状況	令和4年度より拡幅不要である下流工区の河道開削開始 拡幅が必要な上流工区については、現在、河道計画検討業務や 測量業務を実施している。	

2 事業の背景・目的・課題等

(1) 事業の背景

本河川は、中山間地域の田村市中心部（船引町）を流下しており、昭和61年8月、平成元年8月、平成10年8月、令和元年10月の台風や豪雨等により度々洪水被害に見舞われている。

河川整備事業を進めるにあたり、当該河川整備区間は、田村市中心市街地を流下していることから、田村市のまちづくりの計画と連携・調整し、河道計画を立案することが求められている。

河川整備計画：一級河川阿武隈川水系 郡山圏域河川整備計画

(2) 事業の課題

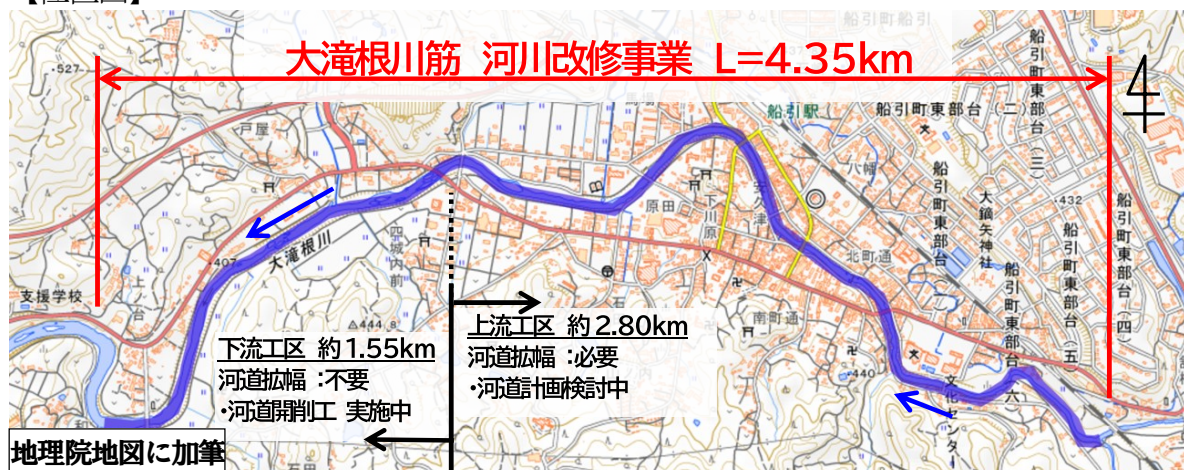
本河川は、中山間地域の田村市中心部を流下しており、河川整備にあたり河道拡幅が必要となるが、そのためには沿川にある多くの住居や商店等が河川用地として必要となるため、非常に大規模な用地交渉、家屋の移転が発生する。

河川整備を進めるにあたり、市道の配置計画をはじめとする田村市のまちづくりの計画と連携・調整し河道計画を立案する必要がある。

3 評価テーマ

- ・市街地（人家連担箇所）で実施する河川事業において、各事業を確実かつ円滑に行うための事業監理手法。
- ・事業区間延長が長大な河川事業において、早期事業完了及び事業効果の早期発現を図るための事業監理手法

【位置図】



事業概要書

1 事業内容

①箇所名

あぶくまがわすじ いしかわぐん たまかわむら ねおあざ おだか

阿武隈川筋 石川郡 玉川村 大字小高地内外

②事業内容

河川改修事業 全体計画区間 L=4.2 km (※県南建設分 3.6 km)

整備計画流量 Q=1,500m³/s

③進捗状況

令和6年度に「阿武隈川水系白河圏域河川整備計画」策定

現在、河道計画検討業務をはじめ、護岸詳細設計、橋梁予備設計、測量業務、地質調査業務等の各種測量調査設計を実施中。

2 事業の背景・目的・課題等

(1) 事業の背景

本河川は、阿武隈川水系の上流部に位置し、平成10年8月の豪雨をはじめとして、平成23年9月の台風、令和元年東日本台風等により度々洪水被害に見舞われており、治水対策が喫緊の課題となっている。そのため、再度の浸水被害防止や軽減を図るために令和7年2月「阿武隈川水系白河圏域河川整備計画」が策定（大臣認可）された。

河川整備計画を踏まえ、河川の状況や特性を把握し、河道計画を策定したうえで、早期の河川整備工事着手が求められている。

(2) 事業の課題

本河川は、対象区間下流の直轄管理区間で遊水地が整備されるため、遊水地整備と足並みを合わせた整備が必要となる。また、事業規模から長期の事業期間が想定される。

現在、河道計画検討業務や測量業務、用地測量、地質調査、架替えが必要な橋梁の設計、護岸設計、周辺用排水の統廃合検討等の多岐に渡る業務委託を実施しており、河川整備計画を踏まえ、最適な河川法線、堤防基本諸元等を検討するとともに付随する各種検討を実施している。早期かつ円滑な工事实施のためには、各種業務を把握し、設計段階から施工に関する技術的な工夫、効率的・合理的な事業展開の検討等が必要である。

3 評価テーマ

- ・事業区間延長が長大な河川事業において、早期事業完了及び事業効果の早期発現を図るための事業監理手法

【位置図】

